

三浦 義美 議員



防災公園の総合計画への位置付けや予算化は

問 次の防災対策について尋ねる。

- (1) 市は東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されているが、国土交通省のシミュレーションによると、木曾川左岸、特に旧立田村付近で決壊すると、洪水時に3〜4m、地震で2・7m浸水する。
- 5m水が入っても大丈夫な避難所は、市内に何力所あるか。
- (2) 防災公園は、策定中の総合計画で位置付けるのか、予算化をするのか。
- (3) 10月のタウンミーティングで、市長は各学区への防災公園整備を提案した。防災公園の規模、また水害の場合、どのくらいの人をそこに入れるのかを尋ねる。

平島中区画整理地内に21年度に着手したい

答 市長

- (1) 海抜ゼロメートル地域なので、5mだと非常に限られた場所しかないと思う。
- (2) 防災公園の要件として
- ①公共用地の利用計画が考えられないか②道路等交通アクセス③人口密度—を考慮決定しなければならぬ。
- 現在、施工中の平島中区画整理事業区域内の約1・4haの公園予定地に、地域とも相談し、防災機能も兼ね備えた多目的な公園を、21年度に着手していきたい。
- 今後はコミュニティ単位の6地区に、早く整備をしていきたい。

答 防災安全課長

- (3) 広域的な防災公園等は約1haが基準と思う。
- 市の避難所は鉄筋コンクリート造等の2階建て以上と決めている。
- 一時避難は1m当たり一人の計算になるが、長引けば2、3mが必要になる。

安心して通れる歩道帯の設置を

問

狭い道路に人が安心して通れる歩道帯の設置をすべきではないか。

市民の負託に応える道路計画を策定したい

答 市長

今後は市民の負託、地域の安心・安全に応えられるよう道路計画を策定していきたい。

問

次の道路の進捗状況を尋ねる。

- (1) 弥富名古屋線
- (2) 白鳥線
- 答** 開発部長

(1) 海部土地改良区会館から県道子宝愛西線までの400m区間は、用地を90%取得している。

交差点改良等を公安委員会やJR等と協議し進めており、早期完成に向け、県へ働き掛けたい。

(2) 接続する弥富名古屋線の楽平地内を土地改良とともに整備する計画であるが、まだだめが立っていない状況なので、白鳥線は長いスパンで見てもよい。



直進が計画されている弥富名古屋線
(海部土地改良区会館前)